

公安委員会定例会議(第23回)の開催状況

第1 日 時 令和7年9月10日(水)

午後2時10分 ～ 午後3時13分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議会議録

総務室から、令和7年第22回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。

(2) 警察職員等の援助要求

警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。

(3) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、10件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

2 報告事項

(1) 他人名義のポイント払いバーコードを利用した不正アクセス禁止法違反等事件の検挙

生活安全部長から、不正アクセス禁止法違反等事件の検挙について報告があった。

委員から「インターネット上の犯罪は、手口が巧妙で秘匿性が高く、被疑者の検挙が困難な場合もあるが、悪質な犯罪の捜査を徹底して欲しい」との発言があった。

委員から「このような不正アクセスに関する事件では、特殊な技術や秘匿性の高いアプリが使われ、検挙が困難な場合もあるが、是非とも事件の全容解明に努めて欲しい」との発言があった。

委員から「サイバー空間における犯罪は匿名性が高く、被疑者につながる証拠が乏しいが、何らかのミスを犯している場合もあるため、ち密な捜査を積み重ね、全容解明に努めて欲しい」との発言があった。

(2) 高速道路における交通事故防止対策

交通部長から、高速道路における交通事故防止対策について報告があった。

委員から「高速道路交通警察隊の活動を理解することができた。事故対応や取締り等各種取組を実施するほか、パトカーでの警戒活動等も引き続き行い、事故防止に努めて欲しい」との発言があった。

委員から「高速道路での対面通行区間は特に重大事故となる危険性が

あり、実際に死亡事故も発生しているため、国や関係機関と連携を図り、道路環境の整備に努めて欲しい」との発言があった。

委員から「高速道路の中でも特にトンネル内での事故対処は大変な危険を伴うものであるため、訓練を積み重ね、警察職員が受傷することのないよう安全に対処して欲しい」との発言があった。

以 上